



濃度計量証明書

No.A2500484-001 (1/2)

2025年5月28日

合同会社 NW-3

殿

神奈川県知事登録 濃度第47号
株式会社 エヌク横浜分析センター
横浜市金沢区幸浦2-19-5
電話 045(785)2914

試料名：調整池オフィス内

採取年月日：2025年4月25日 8時40分

件名：－

採取場所：福島県福島市松川町水原字室沢45他(旧福島カントリークラブ場内)

試料採取：持込

計量管理者 菅野 敬規

2025年4月28日 受付の試料の計量結果を下記の通り証明いたします。

計量項目	単位	計量結果	定量下限値	基準値	計量方法
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.003 未満	0.003	0.03	JIS K 0102-3 14.5
シアン化合物	mg/L	0.1 未満	0.1	0.5	JIS K 0102 38.1.2及び38.5
有機燐化合物	mg/L	0.05 未満	0.05	1	JIS K 0102-4 7.2.1及び7.2.3
鉛及びその化合物	mg/L	0.01 未満	0.01	0.1	JIS K 0102-3 13.5
六価クロム化合物	mg/L	0.02 未満	0.02	0.2	JIS K 0102-3 24.3.1
砒素及びその化合物	mg/L	0.01 未満	0.01	0.1	JIS K 0102-3 20.5
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L	0.0005 未満	0.0005	0.005	昭和46年環境庁告示第59号付表2
アルキル水銀	mg/L	検出せず	0.0005	不検出	昭和46年環境庁告示第59号付表3
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.0005 未満	0.0005	0.003	昭和46年環境庁告示第59号付表4
トリクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	0.01	0.1	JIS K 0125 5.2
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	0.01	0.1	JIS K 0125 5.2
ジクロロメタン	mg/L	0.02 未満	0.02	0.2	JIS K 0125 5.2
四塩化炭素	mg/L	0.002 未満	0.002	0.02	JIS K 0125 5.2
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004 未満	0.004	0.04	JIS K 0125 5.2
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	0.01	1	JIS K 0125 5.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	0.01	0.4	JIS K 0125 5.2
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.01 未満	0.01	3	JIS K 0125 5.2
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006 未満	0.006	0.06	JIS K 0125 5.2
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002 未満	0.002	0.02	JIS K 0125 5.2
ベンゼン	mg/L	0.01 未満	0.01	0.1	JIS K 0125 5.2
1,4-ジオキサン	mg/L	0.05 未満	0.05	0.5	昭和46年環境庁告示第59号付表7第3
チウラム	mg/L	0.006 未満	0.006	0.06	昭和46年環境庁告示第59号付表5
シマジン	mg/L	0.003 未満	0.003	0.03	昭和46年環境庁告示第59号付表6第2
チオベンカルブ	mg/L	0.01 未満	0.01	0.2	昭和46年環境庁告示第59号付表6第2
セレン及びその化合物	mg/L	0.01 未満	0.01	0.1	JIS K 0102-3 26.4
ほう素及びその化合物	mg/L	0.2 未満	0.2	10	JIS K 0102-3 5.5
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.5 未満	0.5	8	JIS K 0102-2 5.2及び5.4
アンモニア、アンモニウム化合物	mg/L	0.2	0.1	－	JIS K 0102-2 13.7
亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	0.1 未満	0.1	－	JIS K 0102-2 14.4及び15.8
水素イオン濃度(水素指数)	pH	7.3(26.6℃)	－	5.8以上8.6以下	JIS K 0102-1 12

計 量 項 目	単 位	計 量 結 果	定量下限値	基 準 値	計 量 方 法
生物化学的酸素要求量	mg/L	0.6	0.5	40	JIS K 0102-1 18
化学的酸素要求量	mg/L	2.6	0.5	40	JIS K 0102-1 17.2
浮遊物質量	mg/L	13	1	70	昭和46年環境庁告示第59号付表8
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油)	mg/L	1 未満	1	1	JIS K 0102-1 22.3
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油)	mg/L	1 未満	1	10	JIS K 0102-1 22.3
フェノール類	mg/L	0.05 未満	0.05	1	JIS K 0102 28.1.1及び28.1.2
銅含有量	mg/L	0.05 未満	0.05	2	JIS K 0102-3 11.6
亜鉛含有量	mg/L	0.05 未満	0.05	2	JIS K 0102-3 12.5
溶解性鉄含有量	mg/L	0.45	0.05	10	昭和49年環境庁告示第64号付表2
溶解性マンガン含有量	mg/L	0.19	0.05	10	JIS K 0102-3 15.5
クロム含有量	mg/L	0.05 未満	0.05	2	JIS K 0102-3 24.2.5
大腸菌数	CFU/mL	0	0	800	昭和37年厚生省・建設省令第1号別表第1
大腸菌群数	個/cm3	2	0	—	昭和37年厚生省・建設省令第1号別表第1
窒素含有量	mg/L	0.5 未満	0.5	120	JIS K 0102-2 17.3
リン含有量	mg/L	0.05 未満	0.05	16	JIS K 0102-2 18.4.1及び18.4.4
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.0027	0	10 以下	JIS K 0312
以下余白					
備 考	基準値は福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく排水基準の海域以外の公共用水域に排出されるもの、ダイオキシン類の基準値はダイオキシン類対策特別措置法によります。アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物の基準値は、アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量が100mg/Lです。 大腸菌数、大腸菌群数は計量証明対象外です。ノルマルヘキサン抽出物質含有量の鉱油及び動植物油における計量方法は、JIS K 0102-1 22.3、JIS K 0102-1 附属書Dとなります。				



2025 年 5 月 28 日

計 量 証 明 書

合同会社 NW-3 御中

計量法第 121 条の 3 に基づき計量の結果を下記のとおり証明致します。

特定計量証明事業登録 愛媛県 第環 42 号
特定計量証明事業者 認定番号 N-0131-01事業者: 三浦工業株式会社
愛媛県松山市堀江町 7 番地
事業所: 三浦環境科学研究所
愛媛県松山市北条辻 864 番地
電話: 089-960-2350 ファクシミリ: 089-960-2351計量管理者
横田正伸

試料情報

試料名 : 調整池オリフィス内
依頼者名 : 株式会社 エスク横浜分析センター
依頼者住所 : 神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-19-5
試料採取日時 : 2025 年 4 月 25 日 8:30
試料受付日 : 2025 年 5 月 7 日
試験終了日 : 2025 年 5 月 28 日
検体番号 : C54211001W
場所 : 福島県福島市松川町水原字室沢 45 他(旧福島カントリークラブ場内)
受付方法 : 持ち込み

分析方法

「ダイオキシン類対策特別措置法施行規則」(平成 11 年 12 月 総理府令第 67 号)
JIS K 0312:2020 「工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法」

結果

対象		結果		備考
ダイオキシン類	実測値	18	pg/L	注 1)2)3)
	毒性等量	0.0027	pg-TEQ/L	

注1) 毒性等価係数は WHO-TEF(2006)を用いた。

注2) 毒性等量は計量法第 107 条による計量証明の対象外である。

注3) 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を 0(ゼロ)として算出した値である。

C54211001W: 調整池オリフィス内

同族体・異性体		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	TEF*	毒性等量
		pg/L	pg/L	pg/L		pg-TEQ/L
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	(0.28)	0.29	0.09	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	ND	0.29	0.09	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.29	0.09	1	0
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.26	0.08	1	0
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.6	0.2	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.8	0.2	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.6	0.2	0.1	0
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	(0.5)	1.0	0.3	0.01	0
OCDD		6.4	1.9	0.6	0.0003	0.00192
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.31	0.09	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.31	0.09	0.1	0
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.28	0.09	0.03	0
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.4	0.1	0.3	0
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.8	0.2	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	1.2	0.4	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	1.0	0.3	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	ND	0.6	0.2	0.1	0
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	(0.3)	0.6	0.2	0.01	0
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	1.0	0.3	0.01	0
OCDF		(0.8)	1.4	0.4	0.0003	0
PCDDs	TeCDDs	0.28	-	-	-	-
	PeCDDs	ND	-	-	-	-
	HxCDDs	ND	-	-	-	-
	HpCDDs	1.0	-	-	-	-
	OCDD	6.4	-	-	-	-
	Total PCDDs	7.7	-	-	-	0.0019
PCDFs	TeCDFs	ND	-	-	-	-
	PeCDFs	ND	-	-	-	-
	HxCDFs	ND	-	-	-	-
	HpCDFs	0.3	-	-	-	-
	OCDF	0.8	-	-	-	-
	Total PCDFs	1.1	-	-	-	0
Total (PCDDs+PCDFs)		8.8	-	-	-	0.0019
DL-PCBs	#81 3,4,4',5'-TeCB	ND	0.5	0.2	0.0003	0
	#77 3,3',4,4'-TeCB	7.9	1.2	0.4	0.0001	0.00079
	#126 3,3',4,4',5'-PeCB	ND	0.7	0.2	0.1	0
	#169 3,3',4,4',5,5'-HxCB	ND	1.3	0.4	0.03	0
	#123 2',3,4,4',5'-PeCB	ND	1.0	0.3	0.00003	0
	#118 2,3',4,4',5'-PeCB	(1.2)	1.8	0.6	0.00003	0
	#105 2,3,3',4,4'-PeCB	(0.5)	1.7	0.5	0.00003	0
	#114 2,3,4,4',5'-PeCB	ND	1.1	0.3	0.00003	0
	#167 2,3',4,4',5,5'-HxCB	ND	0.8	0.2	0.00003	0
	#156 2,3,3',4,4',5'-HxCB	ND	1.3	0.4	0.00003	0
	#157 2,3,3',4,4',5'-HxCB	ND	1.2	0.4	0.00003	0
	#189 2,3,3',4,4',5,5'-HpCB	ND	1.3	0.4	0.00003	0
	non-ortho DL-PCBs	7.9	-	-	-	0.00079
	mono-ortho DL-PCBs	1.7	-	-	-	0
Total DL-PCBs		9.6	-	-	-	0.00079
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		18	-	-	-	0.0027

* TEF: Toxicity Equivalency Factor, 毒性等価係数(WHO-TEF(2006))

備考: ① 2,3,4,6,7,8-HxCDFは1,2,3,6,8,9-HxCDFと、2,3,4,4',5'-PeCB(#114)は3,3',4,5,5'-PeCB(#127)とクロマトグラム上で分離できていないため、それらを含んだ濃度である。

② 異性体の実測濃度中の括弧付きの数値は検出下限以上定量下限未満の濃度を示す。

③ 実測濃度中の ND は検出下限未満である。

④ 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を 0(ゼロ)として算出した値である。

1. 排水の評価

1-1. 基準との比較評価

試料名	検体番号	基準	結果 注1)2)	評価
調整池オリフィス内	C54211001W	10	0.0027	○

(pg-TEQ/L)

○:基準を達成している.

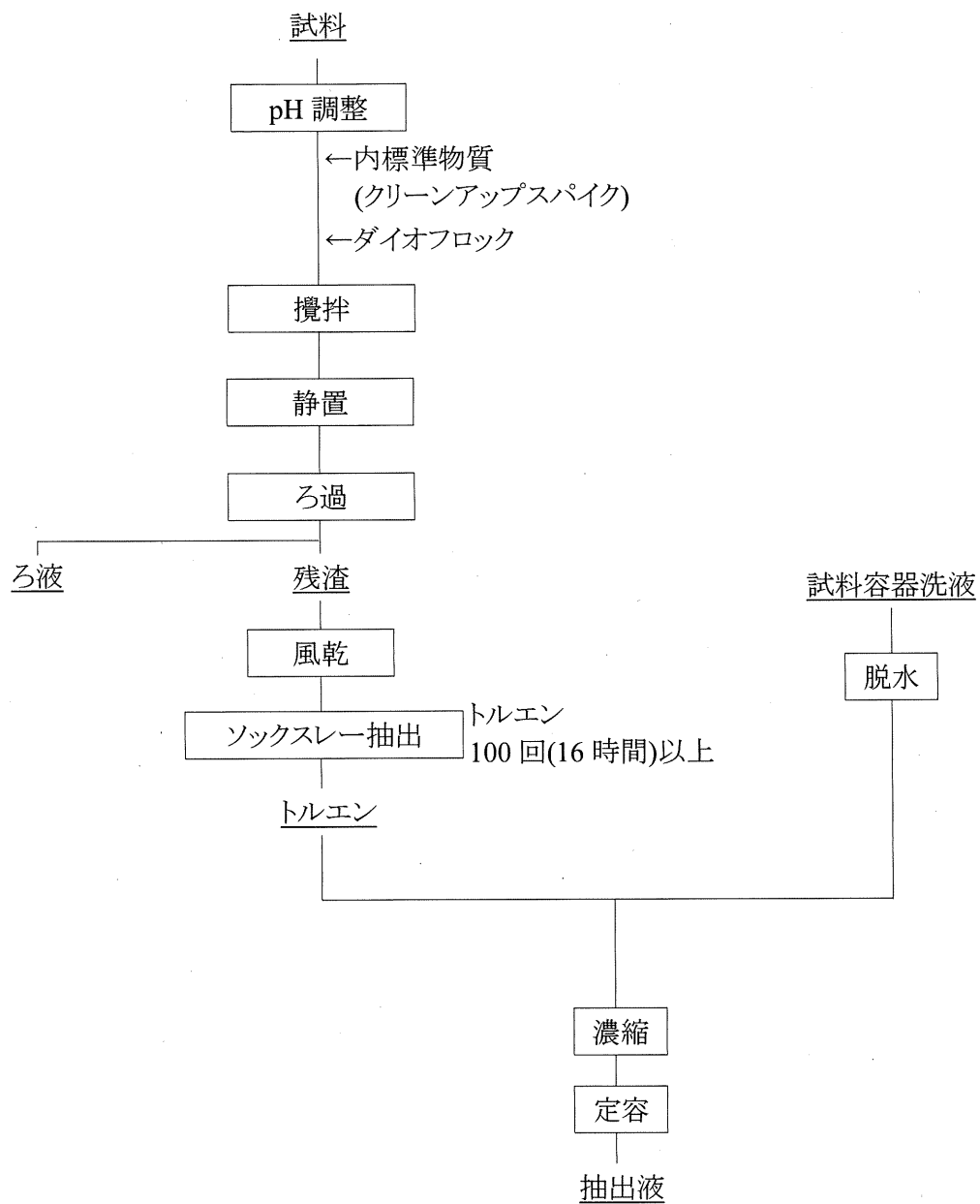
×:基準を達成していない.

注1)毒性等価係数は WHO-TEF(2006)を用いた.

注2)毒性等量は, 定量下限未満の実測濃度を 0(ゼロ)として算出した値である.

2. 測定分析方法

2-1. 水試料の抽出方法



2-3. GC/MS の測定条件

ガスクロマトグラフの条件

測定対象

2,3,7,8-TeCDD, 1,2,3,7,8-PeCDD, 1,2,3,4,7,8-HxCDD, 1,2,3,6,7,8-HxCDD, 1,2,3,7,8,9-HxCDD,
 2,3,7,8-TeCDF, 1,2,3,7,8-PeCDF, 1,2,3,4,7,8-HxCDF, 1,2,3,6,7,8-HxCDF, 2,3,4,6,7,8-HxCDF,
 3,4,4',5'-Tetrachlorobiphenyl(#81), 3,3',4,4'-Tetrachlorobiphenyl(#77),
 3,3',4,4',5'-Pentachlorobiphenyl(#126), 3,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl(#169),
 2,3,3',4,4',5-Hexachlorobiphenyl(#156), 2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl(#157),
 2,3,3',4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl(#189)

カラム	BPX-DXN (60 m × 0.25 mm i.d. TRAJAN 社製)
オープン温度	150 °C, 1min – 20 °C/min → 220 °C – 2 °C/min → 260 °C – 5 °C/min → 320 °C
キャリアガス	ヘリウム
カラムヘッド圧	255 kPa (1.7 mL/min コンスタントフロー)
注入口温度	280 °C (DFS 290 °C)
注入方式	スプリットレス (1 min)

測定対象

1,2,3,4,6,7,8-HpCDD, OCDD, 2,3,4,7,8-PeCDF, 1,2,3,7,8,9-HxCDF, 1,2,3,4,6,7,8-HpCDF,
 1,2,3,4,7,8,9-HpCDF, OCDF,
 2',3,4,4',5'-Pentachlorobiphenyl(#123), 2,3',4,4',5'-Pentachlorobiphenyl(#118),
 2,3,3',4,4'-Pentachlorobiphenyl(#105), 2,3,4,4',5'-Pentachlorobiphenyl(#114),
 2,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl (#167)

カラム	RH-12ms (60 m × 0.25 mm i.d. InventX 社製)
オープン温度	150 °C, 1min – 10 °C/min → 210 °C – 3 °C/min → 280 °C – 20 °C/min → 320 °C
キャリアガス	ヘリウム
カラムヘッド圧	255 kPa (1.7 mL/min コンスタントフロー)
注入口温度	280 °C (DFS 290 °C)
注入方式	スプリットレス (1 min)

質量分析計の条件

	JMS-800D	DFS
	JMS-800DUF	
分解能		10,000
イオン化電流	500 μA	1,000 μA
イオン化エネルギー	38 eV	48 eV
イオン源温度	290 °C	280 °C
加速電圧	10 kV	5 kV

3. クロマトグラム

3-1. 参考: 飛灰試料

BPX-DXN 測定時データ

Compound View

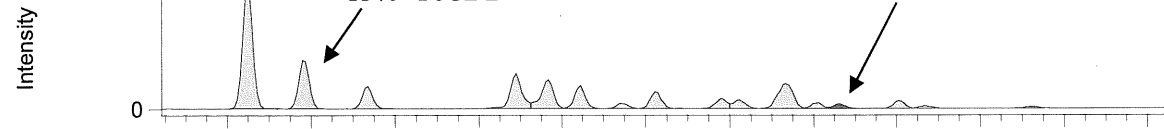
Page 1

DqData :

Injection :

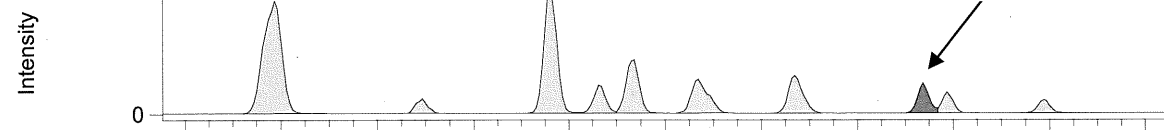
T4CDD / Average

636236



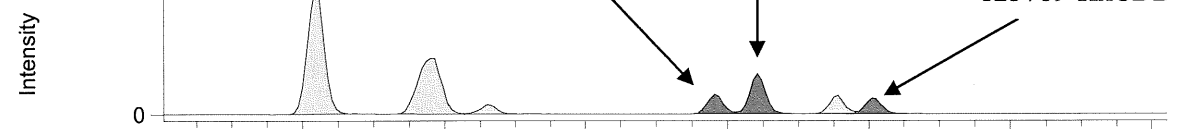
P5CDD / Average

563208



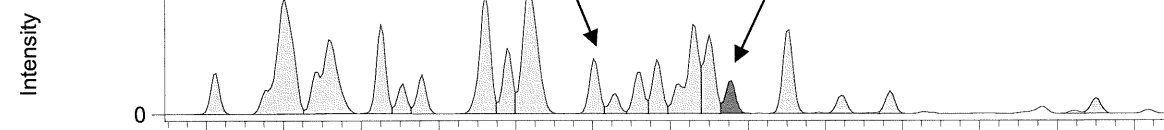
H6CDD / Average

1096102



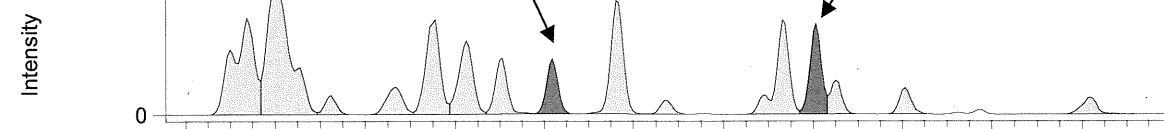
T4CDF / Average

2637884



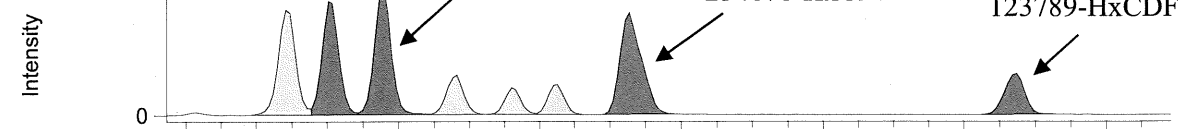
P5CDF / Average

1945138



H6CDF / Average

1521396



BPX-DXN 測定時データ

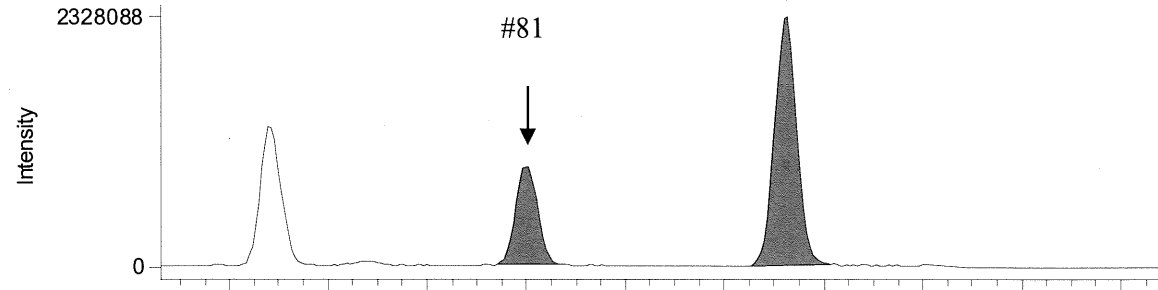
Compound View

DqData :

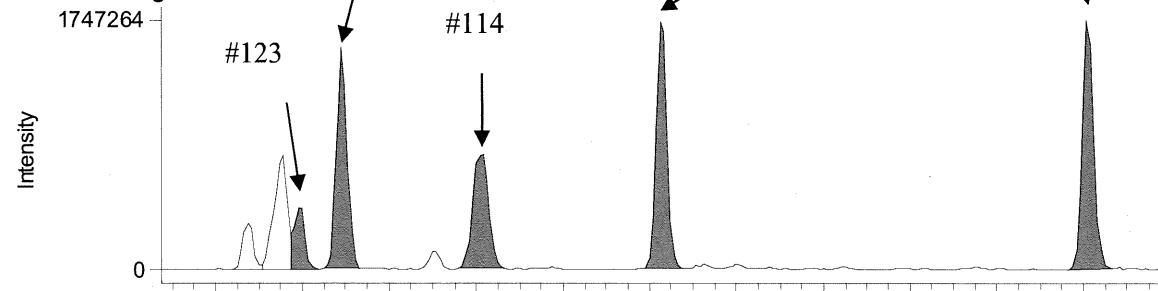
Injection :

Page 1

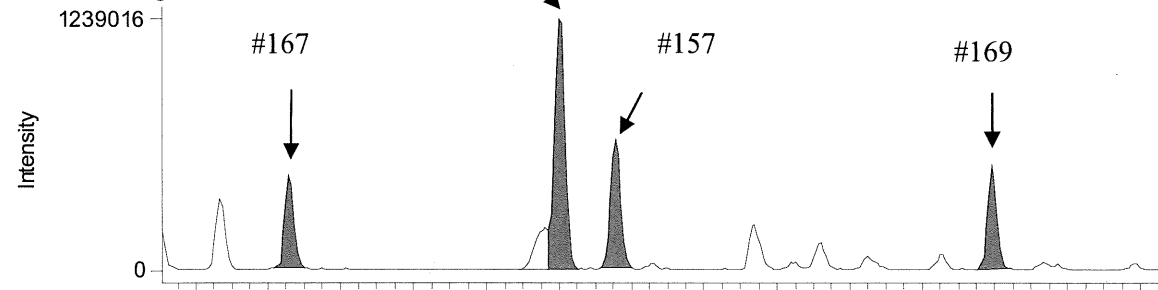
T4CB / Average



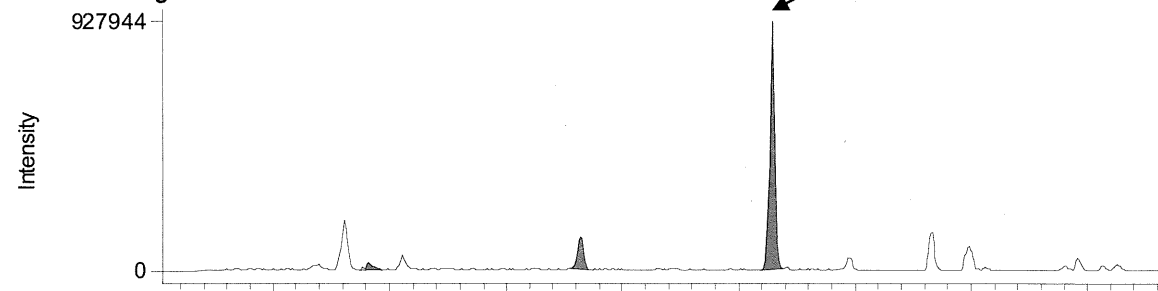
P5CB / Average



H6CB / Average



H7CB / Average



3-2. 調整池オリフィス内 (C54211001W)

BPX-DXN 測定時データ

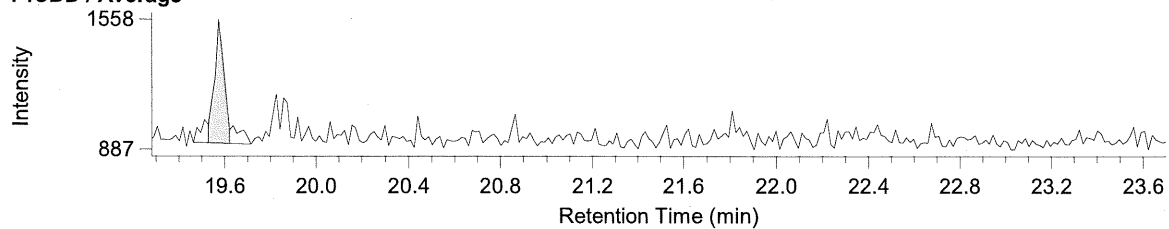
Compound View

Page 1

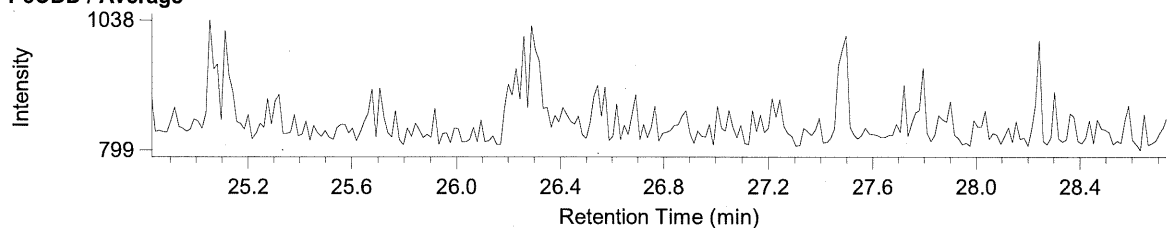
DqData : M:\Diok\DqData\2025\C54211\BPX-105-1

Injection : C54211001W

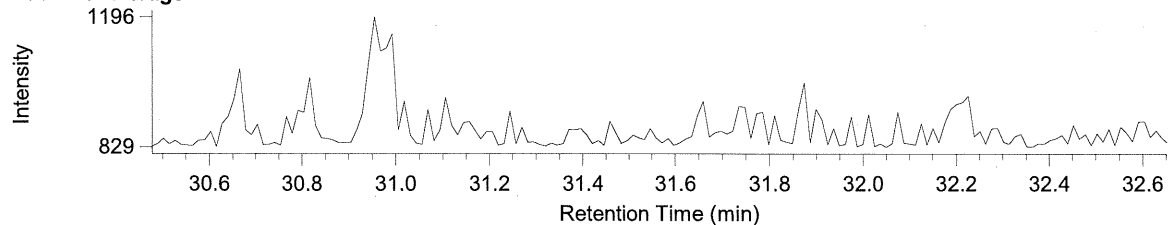
T4CDD / Average



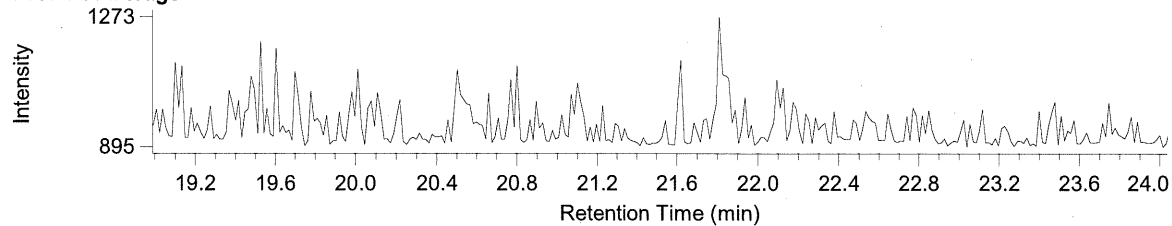
P5CDD / Average



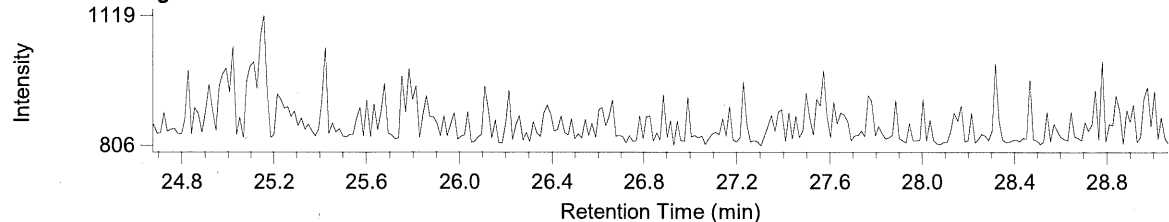
H6CDD / Average



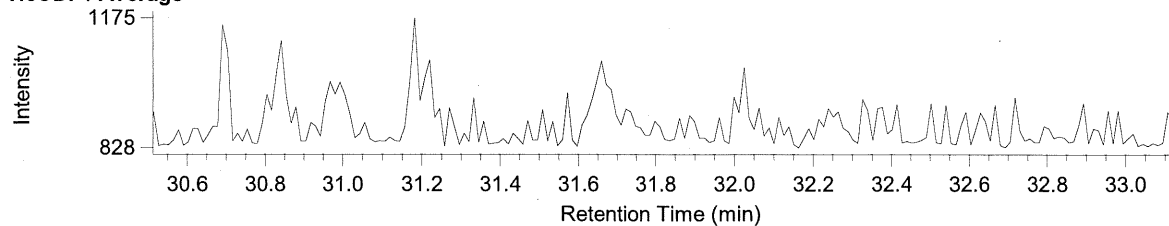
T4CDF / Average



P5CDF / Average



H6CDF / Average



BPX-DXN 測定時データ

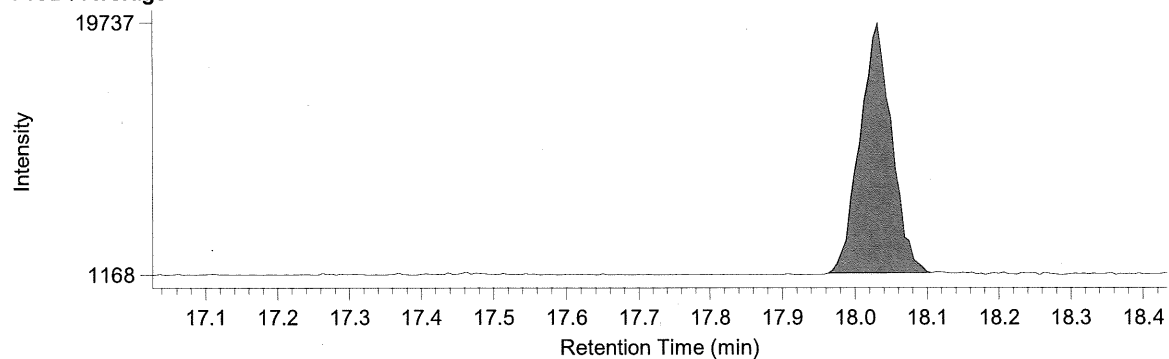
Compound View

Page 1

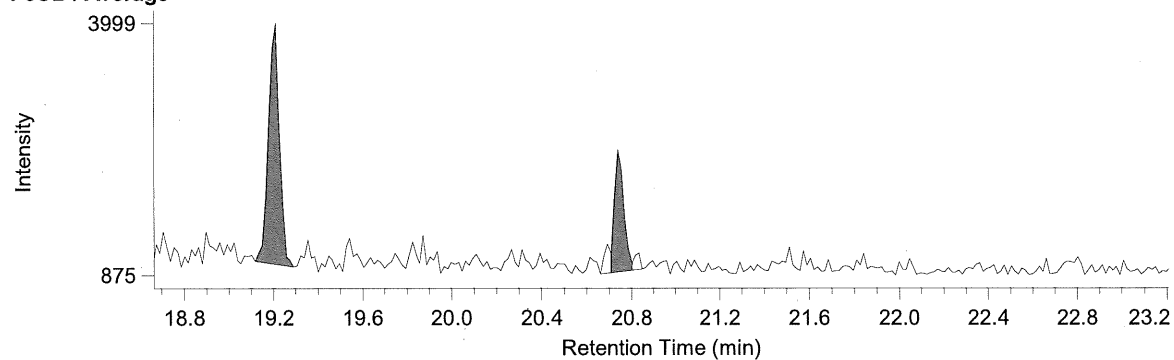
DqData : M:\Diok\DqData\2025\C54211\BPX-105-1

Injection : C54211001W

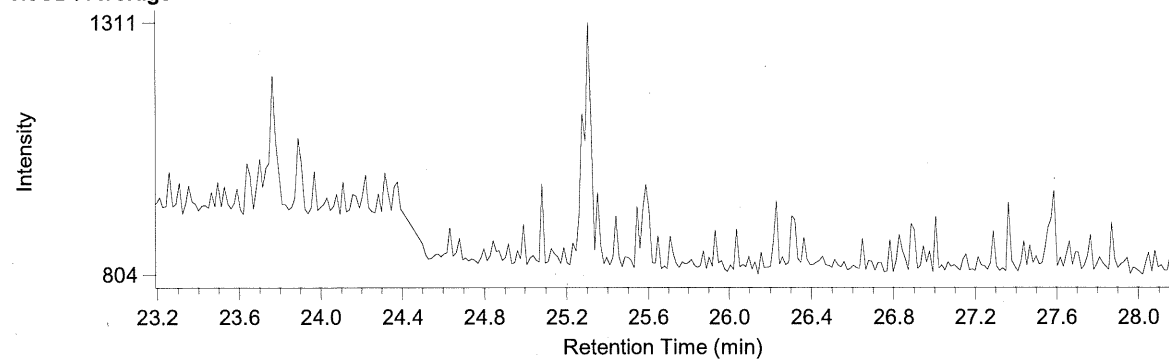
T4CB / Average



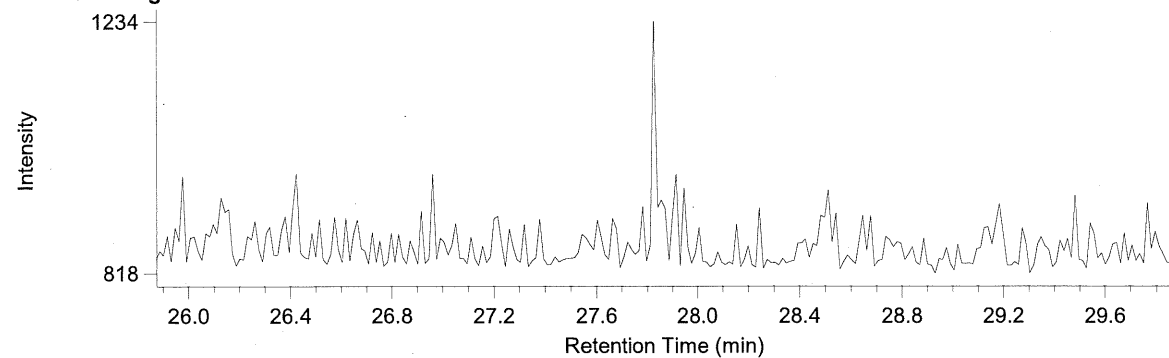
P5CB / Average



H6CB / Average



H7CB / Average



計量証明事業登録証

1 登録の年月日 昭和 6 1 年 4 月 7 日

2 登録番号 第 4 7 号

3 氏名又は名称 株式会社エスク横浜分析センター

4 住 所 横浜市金沢区幸浦二丁目 1 9 番地 5

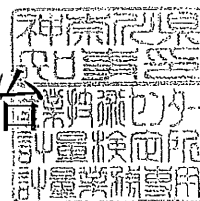
5 事業の区分 濃度（大気中及び水又は土壌中の物質）

6 事業所の所在地 横浜市金沢区幸浦二丁目 1 9 番地 5

上記につき、計量法第107条の登録をしたことを証します。

平成 2 3 年 1 0 月 4 日

神奈川県知事 黒岩 祐治





計量証明事業の登録に係る証明書

1 事業の内容

○登録番号：第 環 42 号

○事業の区分：特定濃度(大気、水又は土壌中のダイオキシン類の濃度に係る事業)

○登録年月日：平成 14 年 12 月 25 日

2 氏名・名称

三浦工業株式会社

3 住所

愛媛県松山市堀江町7番地

4 事業所の所在地

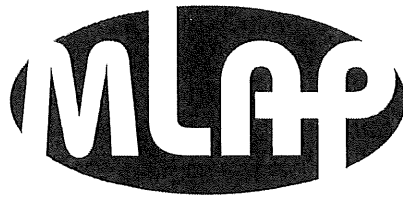
松山市北条辻864番地1

上記のとおり、計量法第107条の規定に基づく計量証明事業登録事業者であることを証明します。

令和2年11月2日

愛媛県計量検定所長





認 定 証

三浦工業株式会社 殿

計量法第121条の4第2項において準用する同法第121条の2の規定に基づく認定特定計量証明事業者として認定を更新します。

交 付 日 2023年10月6日

認 定 更 新 日 2023年11月20日

認 定 番 号 N-0131-01

事 業 者 の 名 称 三浦工業株式会社
住 所 愛媛県松山市堀江町7番地

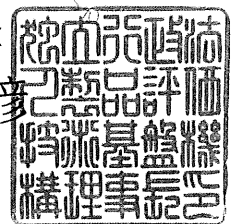
事 業 所 の 名 称 三浦工業株式会社 三浦環境科学研究所
所 在 地 愛媛県松山市北条辻864番地1

認 定 の 区 分 大気中のダイオキシン類
水又は土壌中のダイオキシン類
(詳細は附属書のとおり)

認 定 の 有 効 期 限 2026年11月19日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

理事長 長谷川 史彦



附属書

1頁／全1頁

認定番号 N-0131-01

事業所の名称 三浦工業株式会社 三浦環境科学研究所

認定の有効期限 2026年11月19日

認定の区分の詳細は下表のとおり。

認定の区分		計量の方法
大区分	小区分(媒体)	
大気	排ガス	JIS K 0311 (2020)
	環境大気	ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル (令和4年環境省 水・大気環境局)
水又は土壌	環境水	JIS K 0312 (2020)
	排水	JIS K 0312 (2020)
	土壌	ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル (令和4年環境省 水・大気環境局)
	底質	ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル (令和4年環境省 水・大気環境局)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

理事長 長谷川 史彦

